



ながよう 情報局

給食センターへ行ってきました！

現在、私達においしい給食を提供してくださっている、町田給食センターさんへお邪魔してきました。

昭和 38 年に町田市の旭町で創業。平成 17 年に、現在の町田市木曽町にお引越してきました。園に運ばれてくる給食作りに関わっている従業員は、約 70 名もいらっしゃるそうです。従業員の皆さんの力が一つになって、美味しい給食が出来上がるんですね！ながつた幼稚園とは、40 年近くのお付き合いです。給食懇親会や、アレルギーの対応など、様々な場面で相談に乗っていただいています。多少強引なことをお願いしても、笑顔で対応してくださる給食センターの方々に感謝です。

さてさて、給食懇親会で少しだけ給食センターの方々と関わる機会がありましたが、まだまだ知らないことだらけです。今回は、もっともっと給食センターのことを知ってもらうために、いろいろ調べてまいりました！！では…

町田給食センターが給食を届けている場所

一般企業・病院・定時制高校・中学・託児所・幼稚園などなど…

様々な場所に給食を届けています。しかも、届ける場所により給食の量や給食の箱が違うんです。アレルギーの対応も徹底していて、個別調理も行っています（託児所のみ）。給食の箱の種類が、たくさんあることに驚きました。ながつた幼稚園の給食の数だけでも相当な数なのに、箱を変えて量も調節して、様々な場所へ提供しているなんて…頭が下がります。一つ一つの給食に、心を込めて届けに来てくれているんです。



町田給食センターで働いている方々

管理栄養士⇒献立作り・完成した給食の味見

月ごとに送られてくる献立表のメニューは栄養士さんがすべて考えてくださっているそうです。100 以上あるメニューを組み合わせ、新しいメニューにもチャレンジして…。保護者の方々も、毎日の献立には頭を悩ませたりするのでは？

給食センターの管理栄養士さんの、スーパー頭脳が欲しいですね。

調理師⇒調理（下ごしらえ・盛り付け・材料管理と仕分け）

調理は、男性だけが行います。相当な量を一気に調理するので、力が必要なんです。食材の仕分け・下ごしらえ・材料管理・給食の箱への盛り付けなどは、全職員で行うそうです。

調理場は、戦場でした。とにかく暑い！！見学しているだけの私達も、汗だくになりました。体力勝負なので、調理は男性職員だけなのも納得でした。調理も大変ですが、下ごしらえや盛り付けも、多い日だと 7000 食も作るのです、こちらも大変です。

配達員⇒出来上がった給食の配達・回収

美味しく出来上がった給食を、私たちの所まで運んでくださる方々です。給食をトラックから降ろしたり、積んだりするのも力仕事なので、やっぱり男性中心です。いろいろな場所に運びに行かなくてはならないので、道を覚えるのも大変ですよ。

以上が職員についてのご紹介です。続いて…

給食のできるまでです。



ではでは、我ら広報誌部隊出動。しっかりと準備して、行ってきまーす！

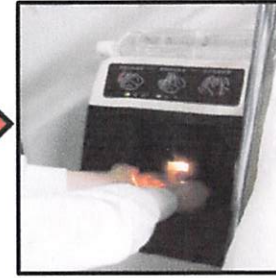
髪の毛をしっかりガードし、真っ白な作業着に着替えました。なかなか似合うよ！！



まずは、作業着に付いている埃をとります。協力して～、コロコロ・コロコロ…コロコロ…。



小さな専用ブラシを使って、しっかりと手を洗います。従業員それぞれにブラシがありました。



最後にしっかり除菌！アルコール消毒をします。自動で、プシュー。



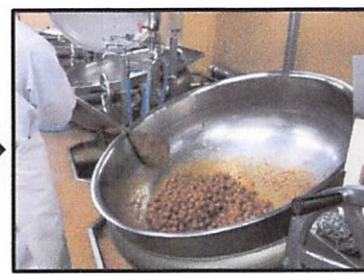
調理場に入る前に、空気で服の細かい埃などを吹き飛ばします！！



調理場内の扉は、全て手を触れずに開閉できるようになっています。なんだか、研究室とかにいる気分。



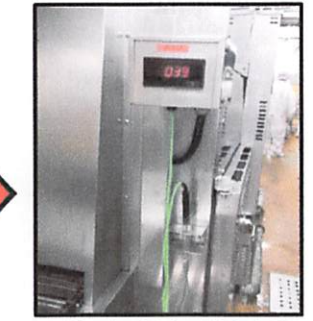
食材が保管されている場所。ここ以外にもいくつかあって、それぞれに室温管理がされています。



下ごしらえが終わった食材は、大きな調理器具で調理され、この鍋で、1000～1400食分調理できます。



こちらは、揚げ物の調理機械です。長い油道を通って出てきます。今回は、作動していなくて残念でした。



揚げた食材の温度を調べます。ノロウイルス対策で、食材の温度は85度以上と決まっています。低い場合は、再度加熱します。



出来上がった食材は、粗熱を取ってから盛り付け場に運ばれます。手前は、自動でご飯を盛り付ける機械です。



ベルトコンベアで流れ作業です。手作業なんです！1000食以上作るのに！すごいです！！！！！！



最後まで、人の目で一つ一つチェックしていきます。入れ忘れがないかなどを調べます。丁寧に、素早く！！

愛情がたっぷり込められた給食は、トラックに乗ってみんなの所へ出発です。今回見学に行って、人の手で行う作業が多いことに驚きました。きちんと丁寧に、真心こもった給食に感動です。朝早くから作業して下さる皆様、ありがとうございます！



(記事作成：永井里奈)